

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P99～100

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	1	上水道の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
<p>強靱で信頼できる水道により安全で安心なおいしい水が供給され、また、下水道の整備と普及により衛生的な生活環境が確保されたまち</p>		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)公共下水道事業の推進	下水道課	市街化区域の整備を行い、生活環境の向上に取り組みました。公共下水道整備に係る事業費が大きいことから、計画的、効率的に整備を進める必要があります。	A
(2)農業集落排水施設等の適正管理	下水道課	施設の適切な維持管理に取り組みました。今後は、施設の老朽化に備えて、機能強化工事を進める必要があります。	A
(3)下水道事業の健全運営	下水道課	公営企業会計による経営の見える化を行い、施設の効率的な維持管理、経費削減を行い、下水道事業の健全運営に取り組みました。今後は経営戦略の改定内容に基づき経費回収率の向上に向けて、使用料の見直し、更なる経費削減に取り組みます。	B
(4)水道施設の整備	環境課	水道施設の老朽化対策及び地震等災害対策として、塩化ビニル管更新事業を推進しました。今後は、設備の更新を進めていきます。	A
(5)水道事業の健全運営	環境課	海部南部水道企業団新水道ビジョン及び経営戦略に基づき、水道広域化の調査・検討に取り組みました。今後は、更なる事務の効率化、経費削減を進める必要があります。	A

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
(1)汚水処理人口普及率	%	81.4	84.1					93.2	△
(1)公共下水道整備率	%	68.1	73.4					94.2	△
(2)農業集落排水機能強化工事更新数(累計)	施設	2	3					5	○

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)公共下水道施設建設事業	689,223	★★★	公共下水道整備について、交付金の内示率の低下により実施事業量が減少したことから、目標値の達成は困難な状況にあります。今後も内示率の上昇は見込めませんが、国土交通省に引き続き要望を行うとともに、目標値の達成に向けて事業を実施していきます。	継続 (改善)
(2)農業集落排水施設管理事業	338,658	★★★★★	全処理区において農業集落排水施設を整備済みであるため、維持管理を中心に事業を進めていきます。また、汚水処理施設については機能強化工事を進めていきます。（予防保全型維持管理）	継続 (現状維持)
(2)コミュニティ・プラント管理事業	13,008	★★★★★	今後も機器の老朽化に対して、優先順位を決めて効率的に取り組むとともに、引き続き維持管理を中心とした事業を進めていきます。また、令和6年度において弥富市汚水処理適正化構想を見直し、汚水処理事業に係る広域化・共同化の一環として、栗荘団地地区のコミュニティ・プラントを公共下水道へ接続することを検討していきます。	統合
(3)公営企業会計管理運営事業	10,976	★★★	令和6年度に下水道事業経営の現状分析と課題把握、投資財政計画の策定、収入改善に係る取組の検討、支出抑制に係る取組の検討を行い、経営戦略を改定しました。また、適切な会計管理運営を行うため、監査法人の助言を受けました。今後は経営戦略の改定内容に基づき、経費回収率の向上に向けて経営を改善するための取組を進めることで、健全かつ安定的な事業運営を継続していくことを目指します。	継続 (改善)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
<p>公共下水道施設建設事業については、10年概成アクションプラン整備計画に基づき、引き続き市街化区域及び人口集中地域を重点的に整備するとともに、整備済み区域内については、接続率の促進に努める必要があります。農業集落排水施設管理事業及びコミュニティ・プラント管理事業については、施設の長寿命化を図るために効率的な施設の更新等に取り組めます。</p>

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P101~104

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	2	道路・交通網の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
国道や県道、市道を中心とした道路ネットワークが充実し、鉄道やコミュニティバス等の公共交通の利用も進み、便利で安全・快適な移動手段が確保されたまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)都市計画道路の整備	土木課	穂波通線の今後の整備は、車新田地区土地区画整理事業で進める予定でしたが、道路事業として進めることに変更することとしました。今後も主要な都市施設として都市の健全な発展のために整備を進める必要があります。また、国や県が整備する都市計画道路については引き続き要望活動を実施します。	A
	都市整備課	弥富駅自由通路整備工事について着工しました。向陽通線は土地区画整理事業で進めていますが、穂波通線が区域の縮小に伴い、街路事業として再び地権者と交渉を行う必要があります。	B
(2)都市計画道路の見直し	都市整備課	弥富名古屋線、平和通線、中央駅前広場、南口駅前広場について、弥富駅周辺のまちづくりに合わせた計画変更の調整が難航しています。	B
(3)公共交通の利便性向上<再掲>	市民協働課	市民生活に溶け込んだ移動手段を確保しながら、より効率的な運行体制にするため、運行ダイヤやバス停の見直しを行い、コミュニティバスの利便性の向上に努めました。しかし、高齢化や運転免許証返納者の増加等の課題に対応するためには、デマンド交通の実証運行を踏まえた上で、さらなる利便性の向上を図る必要があります。	B
(4)地域高規格道路の整備促進	土木課	一宮西港道路推進協議会で要望活動を実施し、概略ルート帯案が絞り込まれ、対応方針が決定されました。今後も早期実現に向けて、引き続き要望活動を実施します。	A
(5)国・県道の整備促進	土木課	国土交通省に対して国道1号の4車線化、尾張大橋の架け替え及び名古屋第3環状線の整備促進の要望を実施しました。今後も早期実現に向けて、引き続き要望活動を実施します。	A
(6)市道の整備	土木課	予定通り事業を実施しました。今後も市民生活の利便性並びに交通安全の向上のため道路整備を実施し、老朽化した道路を適切に維持・管理します。	A
(7)橋りょうの維持管理	土木課	予定通り事業を実施しました。今後も重要度と緊急性を総合的に判断し、優先順位の高い橋りょうから修繕を実施します。	A

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(1)都市計画道路改良率	%	48.4	49.4					49.4	○
(6)市道改良率	%	47.9	48.1					48.3	○
(6)市道舗装率	%	93.7	93.8					93.9	○
(7)橋りょう修繕箇所(累計)	橋	19	22					24	◎

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価：★★★★)

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)街路改良事業	0	★★★★	都市計画道路穂波通線の整備については、車新田地区土地区画整理事業で進める予定でしたが、道路事業として進めることに変更することとしました。また、県が進めている都市計画道路も整備を促進してもらうため、引き続き要望を行っていきます。	継続 (現状維持)
(3)コミュニティバス運行事業(再掲)	114,927	★★★	高齢化や運転免許証返納者の増加により、交通弱者に対する交通手段の確保が喫緊の課題ですが、市内全域におけるデマンド交通の実証実験を通じて、課題が解決されるか検証していきます。	継続(改善)
(6)道路改良事業・道路維持事業(再掲)	210,753	★★★★	今後も、市民の要望が大きい道路整備や安全性に問題のある箇所道路整備を中心に進めていきます。また、多額の費用が必要となりますが、鎌倉踏切・鎌倉308号線の歩道設置に向けた事業を進めており、踏切改良工事・鎌倉1号橋の架け替え工事などを計画しています。	継続 (現状維持)
(7)橋りょう整備事業	27,463	★★★★	橋梁の点検を適切に進め、修繕の判定が出ている橋梁は、国庫補助金を活用しながら順次補修を行います。今後も、引き続き橋梁の修繕を計画的に進めていきます。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

国・県道など地域高規格道路等の整備については、各協議会等を通し、国・県への要望活動を継続していきます。また、市道については、引き続き幹線道路や生活道路等の整備を進めるとともに、弥富市道路修繕計画や橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、継続的に修繕していくことで、市民の安全性や利便性の向上を図っていきます。コミュニティバスをはじめとする地域公共交通については、地域の特性や実情に沿った公共交通網の編成を行っていきます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P105～106

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	3	治水対策の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
浸水等の被害を最小限にとどめるため、河川堤防等の強化や排水路整備等の雨水対策が整うまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)市街地排水路の維持整備	下水道課	市街地における浸水被害を未然に防ぐため、各地区からの事業申請に基づき、現地調査による優先順位に従って施設整備や修繕、浚渫等による適切な維持管理に取り組みました。	A
(2)基幹排水施設の整備・更新	産業振興課	農業用排水施設に対し、継続的に財政支援等を行い事業推進を図り農業基盤整備の充実を図ります。	A
(3)緊急時避難場所の確保	防災課	民間施設を活用する形で企業等との災害協定を締結し、浸水などの危険が迫っている場合に緊急的・一時的に避難可能な緊急時避難場所の充実を図りました。	A
(4)海岸堤防や河川堤防の整備	土木課	木曾三川下流改修工事促進期成同盟会により7月と10月に要望活動を実施し、事業の必要性を関係機関に認識していただきました。	A
	産業振興課	県施工により海岸堤防の耐震対策及び補修工事を実施しました。引き続き、事業の早期完了を要望していきます。	A

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(2)県営地盤沈下対策事業による幹線排水路の再整備延長(再掲)	km	4.7	5.4					9.5	○
(3)津波・高潮緊急時避難場所の指定箇所数(再掲)	か所	58	75					75	○

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価：★★★★)

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)排水路管理事業(再掲)	52,242	★★★★	今後も各地区からの事業申請に基づき、現地調査を行い、優先順位を付け適切に維持管理を行います。	継続 (現状維持)
(2)県営地盤沈下対策事業(排水路事業分)(再掲)	44,709	★★★★	農業用排水施設に対し、継続的に財政支援等を行うことで事業を推進し、農業基盤整備の充実を図る必要があります。	継続 (現状維持)
(2)県営潜水防除事業(再掲)	1,040	★★★★	排水機場整備事業に対し、継続的に財政支援等を行うことで事業を推進し、農業基盤整備の充実を図る必要があります。	継続 (現状維持)
(2)排水機維持管理事業(再掲)	33,528	★★★★	弥富市内のほとんどが海抜「ゼロメートル地帯」であり、公共施設(弥富市道含む)や個々の宅地等の排水は自然に排水されることは無いため、土地改良区が運営管理する農業用排水機場により伊勢湾等へ強制排水しています。そのため、これら(公共施設、個々の宅地等)の排水等を担っている土地改良区の運営に対して、引き続き補助金による財政支援を行うことが必要です。	継続 (現状維持)
(3)緊急時避難場所確保事業(再掲)	0	★★★★	現状は人口に対し緊急時避難場所の面積は確保できていますが、地区により隔たりがあるため、更なる確保を進めていく必要があります。	拡充

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
市街地排水施設整備は、地元からの要望等を踏まえ、浚渫や老朽化した施設の更新等の適切な維持管理を行っていくことが必要となります。基幹排水施設の整備・更新等については農業農村整備管理計画に基づき計画的に実施し、適切な施設管理を行っていく必要があります。また、木曾川左岸堤防尾張大橋付近の高潮対策未整備箇所については、引き続き国に対して早期整備の要望をしていきます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P107~108

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	4	市街地の整備
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
生活拠点の整備や集約的な都市構造への転換が進み、便利で快適な生活が維持されたまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)コンパクトなまちづくりの推進	都市整備課	車新田地区土地区画整理事業について、事業化検討パートナーの意見を踏まえた検証や発起人会の運営支援を行うことで、市街化区域への編入協議を進めましたが、事業計画に課題があることが発覚したため、区域の見直しを行いました。	B
(2)市街地の計画的整備	都市整備課	J R・名鉄弥富駅の自由通路整備に着工し、事業を計画どおり進めました。また、弥富駅周辺のまちづくりについて基本構想を作成し、関係機関との調整を進めています。また、踏切の拡幅や県道整備について協議が難航している状況にあります。西末広地区工業団地造成事業については、企業庁の第2回造成審査会に向けて、埋設物調査を実施し、アクセス道路の設計・調査を行いました。	B
(3)市街地緑地の保全	都市整備課	市内の生産緑地が適正に管理されるように利用状況を確認し、都市における農地等の適正な保全を図ることで、良好な都市環境の形成に資するように努めました。また、営業者が営農を継続することができなくなった際には、農業委員会と連携し新たな営業者への斡旋を行う等、生産緑地面積の保全に努めました。	B

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(1)市街化区域面積	ha	1,110	1,110					1,150	○
(2)市街化区域面積(再掲)	ha	1,110	1,110					1,150	○
(3)生産緑地面積	ha	2.9	2.8					3.7	△

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)J R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業・弥富駅北口交通広場等整備事業	139,050	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画通り事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(1)弥富駅周辺地区まちづくり事業(再掲)	3,245	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、関係機関と調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(1)車新田地区土地区画整理事業	19,250	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、事業化検討パートナーと調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(1)区域区分・用途地域見直し事業	18,865	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画どおり事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(2)J R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業・弥富駅北口交通広場等整備事業(再掲)	139,050	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画通り事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(2)弥富駅周辺地区まちづくり事業(再掲)	3,245	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、関係機関と調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(2)車新田地区土地区画整理事業(再掲)	19,250	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、事業化検討パートナーと調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(2)区域区分・用途地域見直し事業(再掲)	18,865	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画どおり事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(3)生産緑地保全事業	0	★★★	今後も市街化区域内の緑地の保全を図るため、他自治体の生産緑地指定の状況や方法を研究しながら事業を進めてまいります。	継続 (改善)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
人口減少や少子高齢化等の社会構造の変化に対応すべく、持続可能な街づくりを目指し、J R・名鉄弥富駅自由通路整備事業を推進する必要があります。J R・名鉄弥富駅自由通路整備事業に合わせて、弥富駅周辺地区の整備事業の推進、また、車新田地区のまちづくりを推進していきます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P109～110

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	5	公園・緑地の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
公園・緑地の緑と自然の水辺にふれあえ、憩いとうるおいのある生活環境が整ったまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)公園・緑地整備に関する指針の策定	都市整備課	令和6年度は「緑の基本計画」の策定には至りませんでした。他自治体において、都市計画マスタープランの改定に合わせた策定を行う事例があることから、事例の研究と検討を進めていきます。	E
(2)公園・緑地の整備・保全	都市整備課	管理業務委託による公園緑地の適正管理に努めると共に、長寿命化計画に基づき修繕等を実施し、施設の長寿命化に努めました。駅周辺における公園等の整備については、弥富駅周辺地区のまちづくりに合わせて検討を進めていきます。	A
(3)親水空間の整備・保全	産業振興課	県施工による三ツ又池公園の水生植物園の再生や、市民と行政の協働による芝桜の植栽等を行い、市民が集う親水空間として三ツ又池公園の整備・保全を図りました。	A

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	【CHECK】
(1)1人当たり都市公園面積	m ² /人	2.9	3					3.1	○
(2)長寿命化計画に基づく都市公園の施設整備	施設	13	15					27	○
(3)三ツ又池公園の水生植物園の再生	か所	0	0					1	○
(3)三ツ又池公園の芝桜の植栽面積	m ²	11,204	12,222					17,000	○

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)緑の基本計画策定事業	0	★★★★	緑の基本計画の策定については、今後、都市計画マスタープランの改定に合わせた策定が可能が検討を進めていきます。	継続 (現状維持)
(2)公園管理事業	49,455	★★★★	引き続き公園利用者が安心・安全・快適に利用できる環境の提供ができるよう適切な整備、維持管理を行います。	継続 (現状維持)
(3)県営水環境整備事業	5,000	★★★★	農業水利施設に対し、継続的に財政支援等を行うことで事業を推進し、市民が集う親水空間の整備・保全を図る必要があります。	継続 (現状維持)
(3)あいち森と緑づくり都市緑化推進事業	3,154	★★★★	愛知県補助金と同額程度の範囲内で、三ツ又池公園における市民参加による植樹等の緑化活動を継続します。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
都市公園施設については、長寿命化計画に基づき修繕等を行い、子供の遊び場については、施設点検結果に基づき適切な維持管理と計画的な施設更新を引き続き行う必要があります。三ツ又池公園については、引き続き植樹祭等でボランティアを中心に植樹を行い、地域コミュニティの推進をはかるとともに、市民の憩いの場として適切に保全管理していきます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P111~112

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	6	住環境の整備
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
鉄道駅周辺地区における便利で快適な宅地が供給され、誰もが安全・安心に暮らせるまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)良好な住宅・宅地の供給促進	都市整備課	車新田地区や弥富駅周辺地区において土地区画整理事業を進めています。事業計画や関係機関との調整に課題があり、進捗が遅れが見られます。その他の地区では、弥富市宅地開発行為等に関する指導要綱により、事業者等と相互理解を図り、良好な住宅・宅地の供給を促進しました。	B
(2)建築物の耐震診断及び改修の支援	都市整備課	耐震化の社会的な機運は高いものの、改修等の実績は全国的に伸びない実情があるため、今後も引き続き、住宅等建築物の耐震診断や改修、ブロック塀の撤去等撤去に対して支援を行うとともに必要性を啓発し、事業の推進を図ります。	C
(3)空家対策の推進、空家等の活用	都市整備課	空家等対策協議会を開催し、委員の幅広い意見や助言等を参考にしながら、周辺環境に悪影響を及ぼす家屋所有者等に対し、自ら自発的に対策を講じるよう指導や助言を行いました。	B

■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(2)民間木造住宅耐震改修費等補助事業利用戸数(再掲)	戸	27	27					65	△
(3)一戸建ての空家数	件	381	357					315	◎

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)車新田地区土地区画整理事業(再掲)	19,250	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、事業化検討パートナーと調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(1)弥富駅周辺地区まちづくり事業(再掲)	3,245	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、関係機関と調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(2)民間木造住宅耐震改修費補助事業(再掲)	944	★★★★	住宅の耐震化についての関心は高いものの、耐震工事をするなら建て替えを希望する人が多く、耐震化の進捗率は上がらないのが実情ですが、事業を継続し、更なる普及啓発活動に努めることが妥当と考えられます。	継続 (改善)
(2)ブロック塀等撤去費補助事業	524	★★★★★	安心・安全なまちづくりのため、事業の普及啓発活動を継続し、市内のブロック塀等の安全確保を促進します。	継続 (現状維持)
(3)空家対策推進事業	820	★★★★★	引き続き空家バンク等の活用及び空家等対策計画に基づく適正な管理と有効活用を促進します。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
安全な市街地形成の一つとして、建築物の耐震診断や建築物の耐震改修並びにブロック塀の撤去等について、ホームページによるPRやパトロール及び個別訪問を実施するとともに、補助金により支援を行う必要があります。空家対策としては、空家バンク等を活用し有効な空家活用を進めていく必要があります。また、特定空家については、所有者等に空家除去補助金の活用の周知を図り、除去の推進を図っていきます。

第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

■総合計画上の位置付け

総合計画 P113~114

基本目標	5	良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
施策目標	7	港湾地域等の整備促進
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
港湾地域機能の充実とともに物流が活発化し、地域経済をけん引しているとともに、親水・交流の空間として充実したまち		

■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)物流・産業拠点の形成促進	企画政策課	新たなコンテナターミナル確保のため、関係機関に出向き要望活動を行ったものの、具体的な進展はありませんでした。また、特区についても具体的な進展はなく、次世代の産業拠点となるよう、関係機関との連携が必要です。	C
	産業振興課	県企業庁が主体となって進めている南部地区の開発についてホームページ等で周知を行ったところ、開発に興味を持った地元企業等から問合せが数件ありました。今後も引き続き、優良企業の誘致に向けて積極的に周知を行います。	B
(2)親水空間・交流空間の充実促進	企画政策課	親水空間・交流空間充実のため、関係機関に出向き要望活動を行ったものの、具体的な進展はありませんでした。引き続き、関係機関と連携のうえ要望していく必要があります。	C
(3)ポートアイランドへの対応	企画政策課	名古屋港管理組合による長期構想検討においてポートアイランドについて言及されましたが、特に進展はありませんでした。名古屋港所在市として引き続き、関係機関と有効活用に向けた協議を行っていく必要があります。	C
(4)木曾岬干拓地の都市的土地利用の促進	企画政策課	当該地は愛知県有地ですが、一部の未利用地の売却が行われました。その他の土地については、現時点で県に都市的土地利用の計画が無いため、進展していません。	C

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】
港湾整備は市の発展に大きな影響があるため、引き続き国、県、名古屋港管理組合等に要望していきます。